



the most beautiful
villages
in japan

本町は「日本でもっとも美しい村」連合に加盟しています。



広 報

平成23年 (2011年)

きかい

11

No.533



1年 富崎 裕也

おっくん!



5年 山元 翔

たのしいな!



5年 河田 夏歩



1年 西 茶丞

おっくん!



3年 櫻井 心

表紙説明

食欲の秋、読書の秋、芸術の秋と並んで、運動の秋と呼ばれる季節に、町内では秋とは名ばかりの暑さの中、町民体育祭や各集落運動会、来春の閉校で最後となる各小中学校運動会が開かれた。その様子を、小野津小学校児童がイキイキとしたタッチで描いてくれた。

CONTENTS

第49回町民体育祭	P4
シマの話題その1	
(大島地区肉用牛振興大会 他)	P8
方言を残そう・パトメール	P10
教育委員会のとびら	P12
すこやかニュース	P13
シマの話題その2	
(長寿会スポーツ大会 他)	P14
戸籍の窓・喜界歌壇	P16
母校訪問 一第8回・小野津小	P18

第2回

朝日酒造「私達の島を伝えたい」コンクール ＜標語＞作品募集

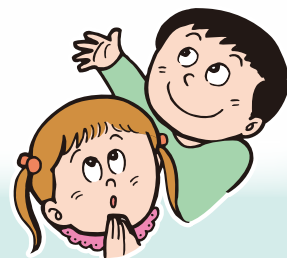
「私達の島を伝えたい」とは、
全国・世界の人々へ「伝えたい」アピールであり、
島を離れて故郷を想い頑張る、喜界島出身の方々へ「伝えたい」エールであり、
未来の子供たちへ「伝えたい」メッセージでもあります。
そして、この「伝えたい」想いには、喜界島への愛情と誇りがたっぷりと詰まっているはずです。
「私達の島を伝えたい」コンクールは、その年毎にテーマを設定し、絵画、ポスター、作文、標語、造形等～、
様々な形で、毎年開催致します。

●第2回＜標語＞作品テーマ……『自然保護 – 自然と共に生きる島 – 』

島の暮らしの中にある自分達と自然との関わりについて考えてみませんか。
「未来へ繋げていきたい喜界島の豊かな自然」その保護について、想いを言葉で表現してみてください。

＜募集要項＞

- ①対象・・・小学生・中学生・高校生
- ②締め切り・・・平成24年1月13日（金）
- ③出品数・・・1人1点に限る
- ④賞・・・朝日酒造賞・優秀賞・特選（賞状・賞品）・入選（賞状）・参加賞
（朝日酒造賞作品は、限定で焼酎のラベルにする予定です）
- ⑤審査基準・・・テーマに沿っていること。その作品から、個々の想いが伝わってくるもの。
想像力を駆り立てるもの。
- ⑥入賞作品発表・・・広報きかい（表彰式：平成24年2月中旬予定）
- ⑦入賞作品展示・・・朝日酒造貯蔵庫にて（平成24年2月下旬予定）



【一般の方の作品も募集します】（コンクール対象外）

～子供たちと一緒に考えてみませんか！ 喜界島の自然について！～

作品は、児童生徒作品と一緒に、来年の2月下旬に朝日酒造貯蔵庫にて展示致します。

応募方法は、朝日酒造で準備してある指定用紙、または自由な用紙にお書きの上、

お手数ですが、朝日酒造までお持ち下さい。（1人1点まで）

たくさんのご応募お待ちしております。※締め切り：平成24年1月13日（金）

【主催・問合先】朝日酒造（株）0997-65-1531

【後援】喜界町教育委員会



林そのえコンサート

十周年記念特別企画

花良治出身
林そのえ



歌&踊り
大島たけし



津軽三味線
松浦仁美

SONOE
IN
KIKAIJIMA

日時 平成 23 年 11 月 22 日(火) 開場 18:00 開演 19:00
会場 サバニ(ライブハウス)
特別ゲスト 肝付初美(一条翠香会の皆様)
主催 林そのえコンサート実行委員会 TEL.090-8512-8751
企画・構成 サンキュー企画 TEL.090-1884-8345
入場料 お一人様¥2,000 —(ワンドリンク付き)

チケットお問い合わせ

湾・豊島弘行まで
携帯 090-9579-8235
自宅 0997(65)2488

第49回町民体育祭

強い湾体協が4連覇!! 黄金時代到来か!?
 滝川体協が前回60点から87点へ27点の大躍進



Bブロックは早町体協が全体3位の126点で優勝

第49回町民体育祭が10月9日、町総合グラウンドで開催された。
 Aブロックは、2位上嘉鉄を30点も引き離す183点を叩き出した湾が、見事4連覇を達成した。
 Bブロックは、各種目の1位は少ないものの、多くの競技で上位に食い込む地力を見せた早町が、全体でも3位となる126点で優勝した。
 躍進賞には、前回の60点から87点と27点も積み増した滝川が輝いた。
 なお、開会式において、体育の振興や普及に功績のあった体育功労者および町を代表して各種大会で優秀な成績を収めた個人・団体への表彰もあった。



4連覇の湾体協

上嘉鉄が保持する5連覇をねらう

総合順位表

Aブロック	校 区	得点
優 勝	湾	183
第2位	上 嘉 鉄	153
第3位	赤 連 池 治	124
第4位	志 戸 桶	116
第5位	荒 木	116

※同点の志戸桶・荒木は上位入賞種目数による

Bブロック	校 区	得点
優 勝	早 町	126
第2位	中 里 連 合	98
第3位	坂 嶺	92
第4位	滝 川	87
第5位	小 野 津	74
第6位	阿 伝	45



歴代優勝体協(ブロック制移行後)

平成	回	Aブロック	Bブロック
9	35	湾 B	志 佐
10	36	荒 木	小野津
11	37	上嘉鉄	湾 A
12	38	上嘉鉄	湾 C
13	39	上嘉鉄	湾 C
14	40	上嘉鉄	坂 嶺
15	41	上嘉鉄	坂 嶺
16	42	湾 B	湾 C
17	43	上嘉鉄	志 佐
18	44	湾	荒 木
19	45	赤連池治	滝 川
20	46	湾	早 町
21	47	湾	赤連池治
22	48	湾	志 佐
23	49	湾	早 町

※湾Bは現在の赤連池治、湾Cは中里連合



団体競技及びフィールド競技記録

●めざせ!ホールイン・ワン

1位	早 町	18打
2位	上嘉鉄	19打
3位	阿 伝	19打

●玉入れ

1位	湾	36個
2位	上嘉鉄	32個
3位	坂嶺・小野津	31個

●輪投げ

1位	上嘉鉄	1分14秒7
2位	荒 木	1分17秒6
3位	赤連・池治	1分31秒1

●運俵リレー

1位	上嘉鉄	39秒8
2位	志 佐	40秒9
3位	小野津	42秒5

●二人仲良く

1位	上嘉鉄	43秒9
2位	早 町	44秒8
3位	荒 木	45秒4

●綱引き

1位	上嘉鉄	
2位	湾	
3位	赤連・池治・小野津	

●ナイス!ストライク

1位	志 佐	1分12秒7
2位	上嘉鉄	1分13秒6
3位	荒 木	1分16秒5

●安全運転

1位	上嘉鉄	1分40秒4
2位	湾	1分42秒0
3位	早 町	1分47秒3

●放とうボール

1位	湾	2分38秒2
2位	滝 川	2分54秒1
3位	上嘉鉄	3分06秒8

●むかで競走

1位	湾	1分23秒6
2位	赤連・池治	1分48秒3
3位	上嘉鉄	1分50秒5



躍進賞

1位	滝 川	前回60→今回87	躍進点27
2位	小野津	前回65→今回74	躍進点 9
3位	坂 嶺	前回84→今回92	躍進点 8

第49回町民体育祭各種目記録

●100M走小学男子

1位	恵畑 伸之	中里連合	14秒3
2位	大山 健人	荒木	14秒5
3位	大山 魁斗	早町	14秒8

●100M走小学女子

1位	中島 凛	志佐	15秒1
2位	登 青野	赤連・池治	15秒6
3位	菊地 美帆	早町	15秒8

●100M走中学男子

1位	岩崎 大雅	荒木	12秒2
2位	南 幸正	中里連合	12秒8
3位	萩原 望夢	早町	12秒9

●100M走中学女子

1位	柴田 琴美	上嘉鉄	13秒8
2位	豊 志乃	赤連・池治	14秒3
3位	岡本 さら	荒木	14秒4

●100M走高校男子

1位	若松 雄	早町	11秒7
2位	若松 祐真	坂嶺	11秒9
3位	松元 翔太	中里連合	12秒0

●100M走高校女子

1位	松村 清来	赤連・池治	13秒9
2位	実田 未紗	上嘉鉄	14秒5
3位	三田美志保	志佐	14秒8

●100M走20歳代男子

1位	古謝 太志	赤連・池治	12秒2
2位	峰山恵喜光	早町	12秒3
3位	相良 忠之	湾	12秒4

●100M走20歳代女子

1位	乾 千尋	湾	14秒7
2位	上間 笑菜	坂嶺	15秒5
3位	石澤 知美	早町	16秒7

●100M走30歳代男子

1位	碓山 貴文	荒木	12秒6
2位	平田 文人	志佐	12秒8
3位	横山 健太	赤連・池治	12秒9

●100M走30歳代女子

1位	松本 由美	湾	15秒6
2位	斉藤 仁美	早町	15秒8
3位	矢竹 茂子	赤連・池治	16秒3

●100M走40歳代男子

1位	向井 康治	志佐	12秒7
2位	重村 剛	湾	13秒5
3位	若山 深志	荒木	13秒7

●100M走40歳代女子

1位	廣瀬 信子	湾	16秒2
2位	澄 千代乃	上嘉鉄	16秒4
3位	平 みか子	赤連・池治	17秒2

●100M走50歳代男子

1位	界田 満仁	湾	13秒8
2位	高岡 清信	赤連・池治	14秒2
3位	廣 秀範	上嘉鉄	15秒0

●400Mリレー小学男子

1位	荒木	1分06秒5
2位	湾	1分07秒4
3位	中里連合	1分08秒6

●400Mリレー小学女子

1位	湾	1分07秒6
2位	赤連・池治	1分09秒1
3位	志佐	1分10秒3

●400Mリレー中学女子

1位	上嘉鉄	1分02秒8
2位	赤連・池治	1分03秒1
3位	荒木	1分03秒8

●400Mリレー高校女子

1位	湾	1分00秒5
2位	上嘉鉄	1分00秒9
3位	赤連・池治	1分01秒1

●400Mリレー青年女子

1位	湾	1分02秒1
2位	坂嶺・滝川連合	1分06秒5
3位	小野津	1分07秒6

●800Mリレー中学男子

1位	湾	1分53秒1
2位	荒木	1分54秒5
3位	上嘉鉄	1分57秒8

●800Mリレー高校男子

1位	中里連合	1分48秒0
2位	湾	1分48秒3
3位	早町	1分50秒0

●800Mリレー青年男子

1位	湾	1分49秒8
2位	志佐	1分52秒5
3位	早町	1分53秒8

●1500M走中学男子

1位	瀧田 優斗	湾	4分36秒6
2位	吉沢凜太郎	湾	4分43秒9
3位	岩川 武蔵	赤連・池治	4分50秒4

●1500M走高校男子

1位	正木 勇太	中里連合	4分51秒1
2位	渡 秀人	湾	4分53秒7
3位	辻 奄美	早町	5分03秒2

●1500M走一般男子

1位	向井 良人	赤連・池治	4分47秒0
2位	山根 敬介	志佐	4分58秒8
3位	斉藤 功一	早町	5分04秒2

●800M走中学女子

1位	嶺 弥里	中里連合	2分45秒1
2位	築 彩香	中里連合	2分47秒6
3位	井之上佑未	上嘉鉄	2分50秒5

●ソフトボール投げ青年女子

1位	勝本 淳子	赤連・池治	42m30
2位	上間 笑菜	坂嶺	41m30
3位	守内 昭子	小野津	40m60

●600Mリレー混成女子

1位	湾	1分35秒2
2位	赤連・池治	1分37秒1
3位	志佐	1分37秒5

●1000Mリレー混成男子

1位	湾	2分15秒4
2位	早町	2分18秒9
3位	中里連合	2分20秒8



ONT48



12月4日～10日は

「人権週間」です

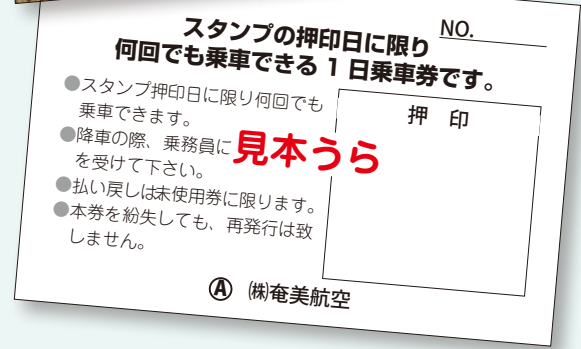
すべての人々が幸せに生きるためには、様々な人権問題を正しく理解し、その解決に取り組むとともに、諸人権問題を通して、自身自身や家族、まわりの人の人権についても認識を深め、あらゆる人の人権が尊重される社会を目指す必要があります。

「世界人権宣言」が昭和23年12月10日の国連総会において採択され、わが国では12月4日～10日までの1週間を「人権週間」と定めています。住みよい喜界島にするためにも一人一人の人権が尊重され

喜界島バス周遊券

BUS ONE-DAY FREE PASS

スタンプの押印日に限り、何度でも乗車できる1日周遊券です(500円)。



お問合せ先
(株)奄美航空喜界バス 65-0061

る社会を実現しましょう。

○重点目標

みんなで築こう人権の世紀

～考えよう相手の気持ち
育てよう思いやりの心～

○強調事項

- ・女性の人権を守ろう
- ・子どもの人権を守ろう
- ・高齢者を大切にすることを育てよう
- ・障害のある人の完全参加と平等を実現しよう
- ・部落差別をなくそう
- ・アイヌの人々に対する理解を深めよう
- ・外国人の人権を尊重しよう
- ・HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう
- ・刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
- ・犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- ・インターネットを悪用した人権侵害を止めよう
- ・ホームレスに対する偏見をなくそう
- ・性的指向を理由とする差別をなくそう
- ・性同一性障害を理由とする差別をなくそう
- ・北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ・人身取引をなくそう



上幼・上小・二中 閉校イベント案内



～最後に最高の思い出を～

閉校式・記念碑除幕について
期日：平成24年2月26日(日)
 閉校式典の前に実施(午前中)



閉校メッセージ
 本年度で閉校となる母校への思いを『メッセージ』として残しませんか？
 200文字以内で学校へ郵送または二中ブログ書き込みにて受付します。
 (様式自由。閉校記念誌に掲載します。)
受付期限：平成23年12月16日(金)



閉校式典について
期日：平成24年2月26日(日)
会場：第二中学校 会費：1人1,500円
 式典の詳しい内容については、後日お知らせします。
申込期限：平成24年1月31日(火)
 申込方法：嘉手浦集落各区長に現金を添えて申込

閉校記念誌について
金額：1部1,000円
申込期限：平成23年12月16日(金)
 申込方法：嘉手浦集落各区長に現金を添えて申込
 島外や校区外に在住している方は、校区内に在住している知人や親戚の方を通じてお申込下さい。



大島地区肉用牛振興大会が26年ぶり喜界で開催

シマの話題

その1

地元開催に華 父系群は喜界が「首席」獲得

第15回大島地区肉用牛振興大会（J A 県経済連主催）が10月19日、喜界家畜市場で26年ぶりに開催された（同大会は3年に一度の開催）。

同大会には、大島地区内から将来の優良母牛となる代表牛が、若雌1区（月齢12〜16月）23頭、若雌2区（同17月〜23月）16頭、父系群（同じ父を持つ3頭を1群として月齢12月〜23月）6組18頭、



群島各地から精鋭が集まった

があることが評価され、見事に首席を獲得した。ななご号を育てる松田さんは「他の2頭に比べて準備が遅れ、8月の町畜産共進会の前は、やせ細っていた。運動や効率的な給餌と周囲の支えで何とか間に合った。今は感無量」と喜んだ。本町からは他に、若雌2区の2席と資質品位部門で特

総勢57頭の精鋭が集まった。

審査は、身体各部位の発育状態や毛並み、四肢、乳房、肢蹄、歩様など大きく8項目で採点され、父系群は3頭の体躯の均一性も対象となる。また、これら項目別ごとに特別部位賞の表彰もあった。

地元喜界から出場した8頭は、若雌1区・2区の首席（優勝）こそ逃したものの、父系群のひさひめ2（豊原芳宏さん）、みさき（菊地俊広さん）、ななご（松田淳一さん）の3頭が、いずれも発育がよく3頭の斉一性（均一性）



審査時には張りつめた空気がただよう

別部位賞に選ばれた栄和子さんの「かつこ」、斉一性部門で特別部位賞に選ばれた父系群首席の3頭などが栄誉に輝いた。

さらに、女性農家が牛を審査する能力を競う審査競技会では、西久代さん、米田七重さん、美島初貴さんが2位に入った。なお、同地区の子牛セリ市取り



表彰式後は出場者と関係者らで記念撮影

扱い頭数が平成20年度で1万5千頭を達成したことを記念して、これまでの畜産振興に功績があった個人・団体への表彰式があり、本町からは町和牛改良組合前組合長の思照也さんが表彰された。

同日夜は全体での交流会があり、島唄やフラダンス、生産者らの余興と鹿児島産黒毛和牛のパーベキューで、大いに盛り上がった。

肉用牛振興大会の会場は9月完成の新家畜市場

肉用牛振興大会の会場となった喜界家畜市場は、9月に完成したばかり。10月6日には落成式があり、こけら落としは第15回大島地区肉用牛振興大会という華やかな舞台となった。

事業主体はあまみ農業協同組合喜界事業本部で、総事業費は約1億5千万円。国の畜産基盤再編総合整備事業を活用し、国から約9千2百万円、県から約4千6百万円、町から約5千6百万円の補助を受け、8千2百万円を自己負担した。用地は、県喜界事務所横の生和糖業が保有する土地（約1万平米）を借り受けている。

これまでの家畜市場は老朽化が

進み、また高齢化で農家戸数は減少傾向にあっても建設業界からの法人参入や個人生産者の規模拡大などにより、増加傾向にある出荷頭数に対応できなくなっていた。

落成祝賀会でJ A あまみ喜界事業本部の源久幸一専務理事は「口蹄疫や原発事故などにより、食の安全が再認識されるなど、依然として畜産業を取り巻く状況は厳しい中、誘導ルール導入や大型の子牛搬入車両対応など、様々な施設を備えた新家畜市場完成で、生産者にはよりよい子牛作りに邁進していただくと期待する。行政や各関係機関はじめ、生産者の方々の支援・協力を心より感謝を申し上げる」とあいさつした。



テープカットする関係者ら

美沢「来季は西武ドームでプレーを」

開幕一軍にむけて、早くも始動

本町上嘉鉄出身で喜界高校卒の美沢将選手が所属する埼玉西武ライオンズ（二軍）は9月27日、西武第二球場（埼玉県所沢市）で東京ヤクルトと対戦した。美沢は4打数1安打1打点と活躍したが、チームは3対9で敗れた。

6番二塁手で先発した美沢は、二併、二ゴロとし、1対2で迎えた6回裏にはショート強襲の中前同点打を放つ。4打席目は右飛に終わった。

守備では、1回表、4回表、6回表と、ゴロをなんなくさばいた。観客席からは「美沢君は調子いいよね」などの声が次々と聞こえ、西武ファンのあいだには、着実に「美沢」が浸透してきた。

美沢は「まだ若いのでチームを盛り上げないと。去年はほとんど怪我で1年が終わったが、今年は1年通してやれた。課題が見つかり、いいところも出てきた」と振り返る。

さらに「バッティングは二の次。守備に関しては去年よりは良くなっているが、もっと確実に守備率を上げていかないと」と続け、「守備は問題ないようにしないといけない。主にセカンドを守っていて、今日は良かったがエラーも結構ある。サードを守ったらサードならではのエラーをしてしまうので、どのポジションでも守れるようにしたい」と、課題を分析した。



守備力とスタミナの強化が課題だ

ル出場で規定打席数を満たした2年目。

美沢は「今シーズンの序盤は夏を迎える前までバッティングはうまくいっていたと思うが、夏が終わるくらいに体力的に落ちてきて、結果もついてこなかった。夏を乗り切るだけの体力も今年のオフでつけないといけない」と意気込んだ。

体重は去年の72キロから77キロになり、筋肉もついてひと回り体も大きくなった。

昨年の写真と見比べると一目瞭然だが、本人が去年とは全然違うというほど、バッティングのフォームを大幅に変えた。構えは、バットを後ろに寝かせ、初めからトップを作って、スムーズにバット

トを走らせる。コーチと話し合っ
て、バットを短く持つてコンパクトに振ることによって、確実性が
増した。下半身の使い方も、よ
り確実にボールに当てられるよう
に、左足はあまり上げずに振る。
試合中ベンチでは、座る位置もか
わった。去年は後列の端だったが、
今年は「ずっとあの位置」という
前例の中央へ。特に意識はしてい
ないというが、気持ちのあらわれ
だろう。

試合後は、「いつも遅くまで居
残り特訓している」と球団広報部。
一軍に上がれなかった悔しい思
いを胸に、3年目にすべてをかけ
る。

「来年は一軍に上がるしかない。そ
のために一から鍛え直す。一年間、
島の方々には応援してもらったの
で、残り少ないシーズン中に一軍
に上がれるように、来年ももちろ
ん一軍に上がれるように、しっか
りと頑張りたいと思います」と、
シマツチュに向けて誓った。

埼玉西武ライオンズの背番号
「4」が、西武ドーム（一軍の本
拠地）で活躍する日も、いよいよ
近い。

（写真・文、高橋伸弥）

島の空手家のタマゴ ユースジャパン強化選手に

全世界空手道連盟新極真会（緑
健児代表）の奄美支部喜界道場の
3人が、11月17日から20日まで、
山梨県の富士緑の休暇村で行われ
るユースジャパン強化選手合宿に
参加する。

ユースジャパン合宿は、日本全
国から将来有望な青少年選手を選
抜し、世界に通用する選手に育て
ることが目的。

参加するのは、久里佐さん（高
校1年）、藤原優花さん（一中3
年）、岡本勝海君（湾小6年）の
3人。

合宿の前に岡本君は「他の道場
生と比べ、自分の力がどれだけ通
用するか試したい。とにかくどん
なことでも吸収してくる」と意気
込んでいた。



左2人目から藤原さん、岡本君、久さん



打席に立つ美沢、その視線は来シーズンを見据える

喜界島の方言を残そう⑧

姜英淑（かんよんすく・松山大学外国人特別専任講師）

喜界島の言葉に触れて

国立国語研究所のプロジェクトの一員として、喜界島に方言の調査にお伺いしてから、早いものでもう一年が過ぎました。ふだんは主に、本土の方言の調査・収録・記録を行っている私たちにとって、初めて聞く喜界島のことばはとても難しくかつ新鮮で、耳と頭と手をフル回転させて取り組んだ一週間でした。発音を聞き取るのに苦労して、何度も言い直していただいていた、それをどのように書き取るかで四苦八苦し、「マーサン」？と「マーサイ」？の意味がどう違うのか、頭を悩ませ…。細かなことを重ねてお尋ねするのに、何度でも丁寧に発音して教えてくださった島の皆様の、ご親切に助けられての調査でした。

日程の後半、調査の合間に少し時間ができたので、タクシーで島を一周してみることにしました。飛行機で着陸する時にきれいな海と緑の島を上空から見ているものの、毎日朝から一日中、調査とその整理をし

て過ごしていて、島の様子を見たことがなかったのです。9月と言っても刺すような日差しの下、志戸桶出身のタクシーの運転手さんに案内していただき、島を見渡せる高台、島の言い伝えにまつわる場所、スプリングラーの整備された一面のサトウキビ畑、国内生産高日本一というゴマ畑、そして、お知り合いの方がゴマを収穫、乾燥作業をされているところを見せていただいたりもしました。また、古代の遺跡があり、歴史民俗資料室が展示を行っています。

ることを教えていただきました。資料室では、調査でうかがっていた「サバ」、「アッサー」、「ソーヒ」、「ティンガー」、「ブットー」等の実物を初めて見て解説を読み、遅まきながら生活の中での使われ方を知ることができました。

方言は、地域の歴史と生活とともにあることを改めて実感しました。短い日数、限られたことを伺っただけでは、ことばについてほんの少しのことしかわかりません。まして、島の生活の中で方言が生きて息づいている姿をすくい取れるようになることは「大きな宿題だな」と思いつつ帰路につきました。



歴史民俗資料室の「ブットー」など

聴覚・音声・言語障害の方 (身体障害者手帳をお持ちの方)へお知らせです

パトメール利用のご案内

大島地区消防組合では、携帯電話等のメール機能を利用した火災・救急時の緊急通報の受信サービス（パトメール）を開始します。対象は**聴覚障害のある方及び音声・言語障害のある方で身体障害者手帳の交付を受けている方**です。

通報者
・新規メール通報
①題名に火災・救急・救助を入力
②本文に住所、目標物、内容を入力

通報 → 消防署通信司令室

通報者へ救急車や消防車が向かっていることを返信します

返信 ← 各消防分署

災害出動

利用希望者は、役場保健福祉課（65 - 1111・内線 37）へお尋ねください。

11月は不法投棄防止強化月間です！

- ・県では、産業廃棄物の不法投棄等の根絶を図るため、毎年11月を「不法投棄防止強化月間」と定めています。
- ・期間中は、不法投棄防止の啓発活動や産業廃棄物の不法投棄防止パトロール等を強化しています。
- ・不法投棄は重大な犯罪です。この機会に一人ひとりが、「不法投棄をしない。させない。見つけたらすぐ電話を」という意識を持ち、不法投棄のない住みよい地域をつくりましょう。
- ・産業廃棄物の不法投棄を発見したら、県庁廃棄物・リサイクル対策課

電話 099(286)3810 (サンパイゼロ) まで御連絡ください。
e-mail:sanpai110@pref.kagoshima.lg.jp

猫の適正な飼養及び管理について

最近猫による苦情が増えています。猫を飼育する時は下記の事項に努めましょう。

- ①適正飼養に努め、糞等を適正に処理し、悪臭が発生しないように努めましょう。
- ②猫を室内で飼養するよう努めましょう。
- ③飼い猫以外の猫に、みだりに餌等を与えないようにしましょう。
- ④猫を山林等に捨てないでください。猫など愛玩動物を捨てることは犯罪になります。
- ⑤猫を飼養することができなくなった場合は、譲渡するよう努めてください。



不明な点は保健所 (0997 - 52 - 5411) へお問い合わせください。



平成23年度自衛官等募集案内



募集種目	応募資格	受付期間	試験日・場所	試験科目	待遇・その他
陸上自衛隊 高等工科学校生徒	平成24年4月1日現在 15歳以上17歳未満 (平成7年4月2日から 平成9年4月1日に 生まれた男子)	平成23年11月1日(火)~ 平成24年 1月6日(金) (締切日必着)	≪1次≫ 平成24年1月14日(土) 奄美市名瀬永田町17- 3 大島支庁内 会議室 ≪2次≫ 平成24年1月28日(土) ~ 31日(火)までの指 定する日 鹿児島県分駐屯地	≪1次≫ 国語・社会 数学・理科 英語の択一式 (マークシート) 作文 (500文字程度) ≪2次≫ 口述試験 身体検査	特別職国家公務員 生徒手当月額 94,900円 期末手当 年2回(6月・12月)
		平成23年11月 1日(火) ~ 平成23年12月16日(金) (締切日必着)	平成24年1月7日(土)~ 9日(月)の指定する1日 神奈川県横須賀市御幸浜 陸上自衛隊高等工科学校	口述試験 基礎学力試験 (論述問題を含む) 身体検査	宿舎は無料 食事・制服類・寝具に ついては支給または 貸与



問い合わせ先: 自衛隊奄美大島事務所 担当: 渡広報官 Tel.53-9103 喜界町役場総務課 担当: 園田 Tel.65-1111

学びの秋！ 研究公開真っ盛り！

十月に、町内の四小学校で研究公開が行われました。研究公開とは、各学校が鹿児島県、大島地区、喜界町から様々なテーマでの研究を指定されて二年間の研究成果を発表する取組です。平成二十三年度は、五つの小学校が研究成果を発表します。今回は、これまでに行われた研究公開の成果を紹介します。

鹿児島県指定 上嘉鉄小

上嘉鉄小は、「複式教育」について研究公開を行いました。特に算数科の授業を中心に、確かな学力を培う指導について研究を進めてきました。授業の進め方、ガイド学習の指導方法、発表などの表現力の育成について研究成果を発表しました。また、当日は、県教育庁三輪善英義務教育課長の講話もあり、学向上について指導していただきました。子どもたちが自主的に活動し、発表する姿が見ら



れました。

大島地区指定 志戸桶小

志戸桶小は、「特別活動」について研究公開を行いました。子どもたちの自主性・自治性を育むことを目指して、「志戸桶プラン」という行事を核にした教育活動の在り方について、研究を進めてきました。十一月に行われる「志戸桶フェスタ」という行事と連動させながら、国語や学級活動の授業を公開しました。子どもたちが自主的に行事を成功させようとする意欲的に取り組むなど、研究が深まっています。



喜界町指定 小野津小 早町小

小野津小は、「基礎学力の定着」について研究公開を行いました。特に算数科における基礎的・基本的な知識・技能的な定着について研究を進めてきました。自分の考



えをまとめる表現力、自分の考えを練り上げる場の充実、家庭との連携について研究成果を発表しました。子どもたちが発表した考えを相互に練り合い高め合う姿が見られました。

早町小は、「外国語活動」について研究公開を行いました。子どもたちの「コミュニケーションへの積極的な態度の育成」を目指して研究を進めてきました。新学習指導要領により新しく導入された、「外国語活動」の表現に慣れ親しむための工夫、コミュニケーション活動の工夫、言語活動の充実、評価の工夫について研究の成果を発表しました。子どもたちが積極的に堂々とコミュニケーションを行うなど、研究の深まりが見られました。



どの学校もそれぞれの学校の特色を生かした子ども達の大きな成長が期待できる素晴らしい公開ばかりでした。学校再編を控えている時期ではありますが、実り多い秋でした。十一月には、荒木小で「郷土教育」について研究公開が行われます。喜界町の素晴らしさを感じることが出来る研究公開になることと期待しています。

きかい100スポーツクラブ 第2回スポーツ教室開催



きかい100スポーツクラブ主催の第2回スポーツ教室が10月1日(土)午前9時より、町体育館、メンハナ公園で開催され、きかい100スポーツクラブの会員約100人が参加しました。

今回は、喜界高校の向井良人先生(山梨学院大学駅伝部主将を務め、箱根駅伝3回出場し、4年生時には準優勝の成績を収める)を講師に招き、「経験に基づくトレーニングの大切さ」と題する講演と、メンハナ公園に移動しての実技指導が行われました。

実技指導は、メンハナ公園を周回するランニングから始まり、入念な柔軟運動の後、走る際の基本姿勢等について実技しながら指導。また、あそびトレーニングを取り入れた練習に参加者の子どもたちは、楽しそうに取り組んでいました。



すこやか ニユース

インフルエンザ予防接種 が始まりました

平成23年度の高齢者インフルエンザ予防接種を実施します。対象の方へは役場より予診票を送付しています。



昨年流行した**新型インフルエンザ**は、**今年度より季節性インフルエンザ**となりました。そのため、平成22年度で全年齢を対象として非課税世帯員の方の接種費用を無料としておりましたが、今年度は以下の対象者の方で条件に該当する方のみ一部助成の対象となっています。

★ 接種対象者

- ① 喜界町に住民票があり、65歳以上の方
- ② 60歳以上64歳以下で心臓・腎臓・呼吸器・免疫不全等の病気が

で身障手帳1、2級を持つている方

★ 実施期間

平成23年10月1日(土)～
平成24年3月31日(土)

※ 過去の発生状況から、より有効性を高めるため、一般的には10月から12月中旬までに接種することが適当です。

★ 接種回数

1回(2回目の接種は全額自己負担となります。)

★ 接種費用

千円(医療機関窓口でお支払いください)

★ 実施医療機関

・中澤内科

13歳以上で、受診されている方が優先

・前川医院

土、日も接種できます。必ず電話で予約して下さい。



・徳洲会病院

〈一般〉月～木曜日、9時～11時、1日30名(予約制)

※定期受診時に接種を希望される場合は予約不要

〈乳幼児〉毎週木曜日、17時～18時、10名(予約制)

〈小児・高校生〉毎週水曜日、15時～17時、40名(予約制)

詳しくは各医療機関へお問い合わせください

「認知症講演会・認知症 介護教室のご案内」

認知症になっても、住み慣れた自宅で尊厳を持って安心して暮らしていくためには、地域の理解、支えあいが必要になります。

また、認知症介護をしている家族の気持ちを理解し、どんな応援をすればいいのか考えてみることは、認知症の人を地域で支える活動の一環としてとても大切です。

認知症の人と家族の会・鹿児島県支部代表 水流涼子氏をお迎えして認知症講演会・認知症介護教室を開催します。

★ 認知症講演会

平成23年11月17日(木)
18時30分～20時

★ 認知症介護教室
平成23年11月18日(金)
13時30分～16時

会場

両日とも(旧すこやかセンター)

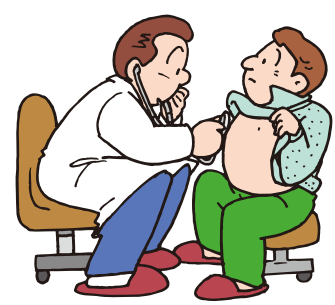


連絡先

地域包括支援センター

(すこやかセンター)
電話(65) 3522

胃がん検診のお知らせ



11月13日～11月16日まで町内6会場にて胃がん検診を実施します。40歳以上で受診票が届いている方は、受診票をご記入のうえ、当日会場に持参してください。

また、受診票が届いていない方や、40歳未満で受診を希望される方は、すこやかセンターまでお問い合わせください。



シマの話題

その2

第36回喜界町長寿会スポーツ大会

上嘉鉄校区が接戦を制し優勝！

喜界町長寿会連合会（村上國信会長）は、高齢者の健康増進と生きがいづくりを目的として、第36回スポーツ大会を10月18日、町総合グラウンドで開催した。

さわやかな秋空の下、小学校区を基準に10チームに分かれた各集落長寿会の選手らは、ボールを転がしてビール瓶を倒す「ボールリレー」をはじめ、テニスラケットにボールをのせて競走する「スプーンリレー」や「輪投げ」、競走中に音楽がかかると六調を踊らなければならぬ「おどらにや損損」など、9種目にさわやかな汗



簡単そうで難しい「水入れ」



バランス感覚も必要な「スプーンリレー」

を流した。

注目の優勝争いは、上嘉鉄、湾A、志戸桶による三つ巴の激しい接戦となったが、各種目で着実に上位に食い込んだ上嘉鉄が他チームを最終盤で振り切り、「若い者にはまかせておけん」とばかりに惜しくも2位となった町民体育祭の雪辱を果たした。

総合結果

- ①上嘉鉄35点、②志戸桶33点、③湾A 30点、④阿伝、④荒木27点、⑥坂嶺26点、⑦小野津、⑦滝川25点、⑨湾B 23点、⑩早町21点

島内外の早町小卒業生9人 (羊申会)が故郷で同窓会

昭和67年生まれの早町小卒業生でつくる羊申会（若松純雄世話人）は10月13日、町内のホテルで傘寿（80歳）を祝って同窓会をした。出席したのは島外から駆け付けた5人を含む9人。一同は数年に一度、島内外で集まっており、この日も記念撮影をして、それぞれの近況報告や思い出話に花を咲かせた。

参加者のひとり「母校の閉校は残念だが、奄美群島の日本復帰と同時に都会へ就職したわれわれ同窓生のきずなは変わらない。また5年後、島で全員元気に再会したい」と話した。



同窓生の再会と傘寿を祝って乾杯！

千葉CYクラブ一行12人が 来島、町民と交流深める



お年寄りとも楽しく交流した千葉CYクラブ

千葉県を拠点に、歌とピアノの指導やコンサート活動などを精力的に取り組む笠よしこさんが主宰するNPO法人千葉CYクラブのメンバー12人が、10月21日から24日までの4日間、喜界町を訪問し、町民らと交流した。同クラブは、上嘉鉄出身の嘉村幸憲さんが所属しており、この縁で昨年も島を訪れている。

一行は、焼酎工場の見学や島内観光の他に、メンバーで千葉県サッカー協会理事の藤原明夫さんによる小学生へのサッカー教室、笠さんらによるデイサービス喜界園での「歌声訪問」など、ボランティア活動もした。

喜界園管理者の金井勝芳さんは「笠さんはじめメンバーのみな

保健所からのお知らせ！

肉類や鶏卵は栄養価が高く、日々の食生活に欠かせない食品ですが、生食を避け、できる限り十分に加熱した料理を食べましょう。とくに乳幼児、子供、高齢者、妊娠中の女性など、抵抗力が弱まっている方は、肉や卵を生で食べないように、また食べさせないように心がけましょう。

注意すべき食材

牛ユッケ、牛刺し、牛タタキ、鶏刺し、生卵、卵かけご飯など

さんは、ベットに横になっているお年寄りにも寄り添って、一緒に歌ってくれた。おかげで楽しいひとときが過ごせた」と感謝した。一行は日が暮れても島での時間を惜しむように、郷土料理に舌鼓を打ち、島唄を堪能し、多くの町民と交流した。

家庭裁判所における教育的な働きかけ ～社会奉仕活動を目的とした補導委託～

家庭裁判所における試験観察

家庭裁判所では、非行のあった少年について、保護観察や、少年院送致などの処分を決めますが、しばらく少年の生活態度などを見てから処分を決めることもあり、これを「試験観察」といいます。

社会奉仕活動を目的とした補導委託

試験観察においては、非行を繰り返すことがないように、様々な方法で教育的な働きかけを行っています。

例えば、老人福祉施設や乳児院などの施設に少年を預けて指導してもらう「補導委託制度」を利用し、短期間社会奉仕活動に取り組みさせることがあります。



社会奉仕活動に参加することの効果



最近の非行少年の特徴として、他人とうまくコミュニケーションを取れないことなどが指摘されていますが、活動を通じて、少年は、自然と相手に思いやりの気持ちを持つようになります。

こうした経験が立ち直りのきっかけになるものと考えられています。

未来ある少年に立ち直りのきっかけを！

喜界歌壇

〈ミーミン会〉

若かりし杵き日の頭つ石垣に
紫式部は神無月に揺る

嶺倉 祝子

月光に身を任せつつ友集い
歌に遊びし吾若かりき

林 蓮香

カーテンを開めず月光差し込みて
テレビなど無き遠き日惚ふ

有村 道子

満ち欠けを生きて今宵の明月に
語りかけたき事のありけり

平尾 チヨ

名人の家にこぞりて島唄を
黙し聞きおり月照る庭に

弥島 幸子

十六夜いざよいや月は東に暗照あんらし
群れ草の中鈴虫むの声

井澤紀美子



風吹けば塵集ちみ團押し寄せて
その内宝迷い込みたるや

前田喜代美

血糖値降下治療入院の
保証人息子サインに感謝

平島 初子

幼児の徒いたづらさえも羨とほしかり
成す可き事も出来ぬ吾が身に

美代 イシ

夏と秋征きかふ九月朝夕の
片方涼しき秋や夜深し

豊島 瞳

街灯のあかりも荒すさぶ冬隣
ぎじりと鳴いて蝉の飛びゆく

徳 成寿

喜界町の推計人口

11月1日現在の人口推計は、
国勢調査の確定値が公表された
ことにより、通常より集計が遅
れます。

したがって、11月分の人口推
計は、12月号に掲載します。

戸籍の窓

こんにちは

赤ちゃん



氏名 保護者 住所

野間	海風・義久・中里	大瀬	翔・志穂・赤連	福田	春瑛・春樹・中里	清	正弥・正吾・湾
----	----------	----	---------	----	----------	---	---------

(結婚なし)

ごめい福を
お祈りします



住所 氏名 年齢
伊実久・重村 歌子・73才

荒木・久保五十一・60才

志戸桶・東目 松・93才

阿伝・平田 隆雄・81才

赤連・常田 キヨ・98才

志戸桶・吉岡 大子・49才

中里・賀村幸之助・86才

湾・寿山フミ子・94才

中間・要 セキ子・89才

上嘉鉄 三浦 功也

赤連 岡本 玉子

伊実久 重村 敬之

赤連 常田サチ子

志戸桶 東野 啓昌

ふるさと寄附者 (敬称略)

羊申会 (昭和6・7年生ま
れの早町小卒業生有志)

村瀬 賢祐 愛知県

武田 勝次 大阪府

一般寄附者 (敬称略)

田畑 十三 長崎県

社協だより

■香典返し (敬称略)

神奈川県在住 (中間出身)
生駒 文武

解説

「祖父母が思うほど孫は祖父母のことを思わない」こと
の例え。ある種のあきらめを表現した言葉か。

ヤマトのことわざでは「親の心子知らず」に近い。そ
の子らも、やがて人の親となり「子を持って知る親の恩」
を実感する。

グサニを用いた同様の意味を持つことわざは、表現は
違えど各集落にある。小野津では「クワマゴウヤムナカ
マシトウシトウリバグサネイドウタミナヌル (子や孫
は育てて終わり。老後は杖こそが頼りになる)」と伝わ
る (賀村幸之助著『民話と明治の偉人』より一部転載)。

编者 (中里出身) はイナサリ (幼少時) に、「マゴ
ヤグサニヌシクムネー (孫は杖のように役立たない)」
と祖父から言われた記憶がある。

今月の
ウヤフジ訓 15

ウマガーヤ

(孫は)

グシヤネイン

(杖の)

テームネン

(高さもない)

スイカズラ (吸菖、忍冬)

東アジア原産でスイカズラ科スイカズラ属の常緑つる木本。名前の由来は、昔、子どもがおやつ代わりに花の甘い蜜を吸ったことから。砂糖がなかった頃は、蜜を甘味料として利用したという。また、冬枯れしないことから忍冬(にんどう)の別名もある。中国では、写真のとおり白い花がやがて黄色に移るうことから、金銀花と呼ばれる。

花は芳香を漂わせ、葉や茎を煎じれば利尿、解毒、解熱、関節炎、腸炎、冷え性、湿疹などに効果がある。煎じた残り湯は入浴剤にも使われる。

花言葉は「愛のきずな」「献身的な愛」「友愛」など。日本ではおとなしいが、欧米では大繁殖して森林

を覆うほど猛威を振るい、問題化している。外国からの移入動植物が、日本で生態系に悪影響を及ぼすケースと同様である。本来の生息地では生態系の一員として他の動植物と共存していても、環境が変わると周囲に悪影響を与えるか、あるいはすぐに死滅してしまう。島じゅうを占領してしまったシロバナセンダングサ(サシ)や奄美・沖縄のマングースなどは悪者扱いされているが、彼らは人間“様”の都合で異郷の地に連れてこられた被害者なのである。

ムクゲ (槿、木槿、無窮花)

インドや中国が原産でアオイ科フヨウ属の落葉低木。花がいつまでも咲き続けることから、古代中国で「無窮の花」(無窮とは、無限・永遠などの意味)と呼ばれ、その無窮花の呉音読みから日本ではムクゲと名付けられた。ちなみに、花が朝に咲いて夕方にしぼむことを数日くり返すため、奈良・平安期から江戸後期までは「朝顔」と呼ばれていた。よって、万葉集などにでてくるアサガオは、ムクゲ(他にはキキョウなど)を指すことが多い。

近縁種のハイビスカス(ブツソウゲ)と同様、花の色や形は多種多様である。韓国の国花。

花言葉は「尊敬」「柔和」「信念」「デリケートな美」など。



ウコンサンゴバナ (鬱金珊瑚花、パキスタキス・ルテア)



南米ペルー原産でキツネノマゴ科ベニサンゴバナ属の常緑低木。ブーゲンビリアやポインセチアなどと同様に、黄色く見えるのは花びらではなく、葉が変形したもの。白く見えるのが花である。したがって、花が散っても鑑賞できる。花言葉は「美しい娘」。



小野津小学校

学校概要

小野津小学校は明治34年、東尋常小学校小野津仮教場として設置。

その後、早町尋常高等小学校小野津分校などを経て昭和23年、小野津小学校となって現在にいたる。

学校の特色は一学校一集落（行政区は2つ）で地域との連携が深く、地域の特色が学校運営に反映されている。児童間

校長：福塚裕美（第31代）、教職員8人・児童数20人・学級数3



〔校訓〕
小野津魂
百折不撓

児童数等の推移

年度	児童数	学級数
昭和43	128	6
47	75	6
50	49	4
55	53	4
60	56	6
平成元	60	5
5	46	5
10	21	3
15	14	3
20	18	3

の結びつきも強く、上級生は下級生の面倒見がよく、団結して学校や地域の行事などに参加し、その他あらゆる目標を実現する伝統が古くからある。これは、国内とどまらず世界にネットワークを広げる「旅の小野津人会」につながる。他集落の郷友会に増して島を離れた後輩を支援する気風がある同会は、後輩らの就職や進学に際し、先輩らは時に私財を提供するなど、物心両面で支える伝統が受け継がれている。また、比較的役人志向がある島民気質の中では珍しく、同校出身者は事業家が多く、喜界や奄美のみならず鹿児島や日本を代表する起業家や法律家などの偉人を、多数輩出している。

文化遺産を抱え、産業面では漁業が盛んであり、さとうきびは島内の一割以上を生産する。これらの特色を活用し、校区民の協力で追い込み漁体験や農業体験にも学校として取り組んでいる。さらに「海のシマ」にふさわしく、県内で唯一、水泳の授業を海で行っている。



昭和30年代の校舎



同級生はもちろん学年間のきずなも深い



運動会は万国旗より大漁旗！

校歌

作詞 野村 トシ
作曲 武田恵喜秀

一 歴史はふるく 雁股の泉はここに 湧きいでて 清き流れは 黒潮の大海原に 注ぎいる ああ 希望に燃える 小野津 小学校

二 緑に映える 山なみに 真白き百合の かおりたち 学びの鐘は こだまして 愛と平和の ひびきあり ああ 理想は高し 小野津 小学校

三 潮鳴り高き 学び舎に 若きはらから 集い来て 真理の道を 究めつつ 広く四海に 巣立ちゆく ああ 永久に讃えん 小野津 小学校



授業風景（水泳）